



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部 活動報告

発行人：伴 信太郎
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻
総合診療医学 内
Tel. 052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail: nobuban@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.27(2019.9) 本号の編集担当者 吉岡哲也

【支部情報】

1) 『第8回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会』

2019年11月24日(日) 場所:名古屋大学医学部鶴友会館2階大会議室

2) 『中部ブロックポートフォリオ発表会*2020』

2020年3月7日(日) 場所:名古屋大学医学部鶴友会館2階大会議室

●三重県

【活動報告】

1) 第9回プライマリ・ケアエキスパートナース研修会を開催

日時:2019年7月27日(土) 13:00~16:00 会場:三重県立子ども心身発達医療センター

第9回目となるエキスパートナース研修会に70名ほどの参加がありました。

三重県立看護大学学長である菱沼典子先生より、「看護に生かしていますか？解剖・生理」と題した講演をしていただきました。卒後数十年(?)経過しているナースにとって、改めて正しい知識が必要であると感じさせてもらえるお話でした。

後半は、知識をどのように実践に結びつけて、看護師としての責任性を果たしているかを3名のシンポジストに語ってもらいました。働く場所、領域が違うことでそれぞれ必要な知識の違いや責任の重さが違うことがよくわかりました。



2) 第3回家庭医療・総合診療セミナーを開催

日時:2019年7月2日(土)

会場:三重大学医学部総合医学教育棟 臨床第1講義室

演者:市川周平 先生

3) 第4回家庭医療・総合診療セミナーを開催

日時:2019年7月30日(火)18:30~20:00

会場:三重大学医学部総合医学教育棟 臨床第1講義室

演者:近藤諭 先生

「質的・量的研究・診療に役立つ認識論・存在論的基盤および総合診療医の哲学・科学的基盤」

4) 第5回家庭医療・総合診療セミナーを開催

日時:2019年8月27日(火)18:30~20:00

会場:三重大学医学部先端医科学教育研究棟2階 基礎第1講義室

演者:鈴木富雄 先生(大阪医科大学附属病院総合診療科 科長 / 大阪医科大学地域総合医療科学寄附講座 特任教授)

「医師はどのように診療にたどり着くのか ~臨床推論と診断エラーについて~」

大阪医科大学より鈴木富雄先生をお招きし、「医師はどのように診療にたどり着くのか ~臨床推論と診断エラーについて~」という演目でご講演頂きました。学生から臨床医まで、19名が参加しました。医師の臨床推論の基盤となる認知機構から、初学者と熟練者の差の認知論的な基盤、臨床推論の過程で生じる認知バイアスなど、臨床推論に関する様々な事象を包括的にお話し頂きました。質疑では臨床推論に関わることから勉強法やキャリアの相談まで、非常に盛り上がりました。



【今後の予定】

1) 第6回家庭医療・総合診療セミナーを開催予定

日時:2019年10月1日(火)18:30~20:00

会場:三重大学医学部先端医科学教育研究棟2階 基礎第1講義室

演者:井階友貴 先生(福井大学医学部地域プライマリケア講座 教授)

「赤ふん坊やがまちを元気にする~これからの地域包括ケアのカたち~」

2) 第7回家庭医療・総合診療セミナーを開催予定

日時:2019年11月5日(火)18:30~20:00

会場:三重大学医学部先端医科学教育研究棟2階 基礎第1講義室

演者:若林英樹 先生(三重大学医学部附属病院総合診療科 講師)

3) 第8回家庭医療・総合診療セミナーを開催予定

日時:2019年12月2日(月)18:30~20:00

会場:三重大学医学部先端医科学教育研究棟2階 基礎第1講義室

演者:竹村洋典 先生(東京医科歯科大学大学院 全人的医療開発学講座総合診療医学分野 教授)

●福井県

【報告】

1. 夏だ！海と地域医療体験ツアーin 高浜 開催！

毎年恒例、海浜救護所での救護体験と診療所等での地域医療体験を組み合わせた、医療系学生・若手専門職向けの人気のツアー、「夏だ！海と地域医療体験ツアーin 高浜」、今年も開催されました！アジアで初めてビーチの国際環境認証「ブルーフラッグ」を取得した高浜町の若狭和田ビーチに、全国各地から4週間で合計21名が集結し、地域医療&海を濃厚に感じていただきました。 <http://www.wadashin.com/education/tour.php>



2. 永平寺町立在宅訪問診療所(通称:えい坊クリニック)8月1日始動！

永平寺町立在宅訪問診療所は、永平寺町から福井大学が指定管理を受け、8月1日に開院しました。

診療所の理念として「医療・介護・福祉施設、行政・教育機関と連携し、地域住民の皆様が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、伴走します。医療・介護・福祉職はじめそれらを目指す学生・地域住民の皆様が、交流できる場・学び合える場を、醸成します。」と掲げました。

総合診療部スタッフにも協力いただき、2診体制で、9～12時は外来診療、13～14時には多職種カンファレンス、14～17時は訪問診療を行っています。また在宅支援診療所として、訪問診療を行う患者さんに関しては、24時間365日の体制で対応します。

当施設はプライマリ・ケア連合学会の家庭医療専門研修プログラム・日本専門医機構の総合診療専門研修プログラムの研修施設にもなっております。本年11月からは医学生の臨床実習、来年度からは看護学生、初期研修医の研修先としても、対応していきます。見学、研修お待ちしております！ <https://www.hosp.u-fukui.ac.jp/eiheiji-sinryou/>



3. 第12回福井県ポートフォリオ発表会

福井県ポートフォリオ発表会に関連して2019年6月8日にプレイベント、9日に本番が開催されました。

ゲストに東京城東病院総合診療科南郷栄秀先生がお越しください、8日は『臨床現場での二次資料の効率の良い使い方』についてご講演いただき、実践しながらUp to dateやDynamedの使い方を濃厚に学ぶことができました。9日は『エビデンスに基づいてポリファーマシーを上手に解消する！』をテーマにご講演いただきました。お薬のやめかたはなかなか苦労することが多いですが、各薬剤についてのエビデンスを考えることの重要性や根拠のつけかたを学ぶことができた貴重な機会でした。その後は福井県が誇る専攻医による発表が行われ、指導医陣や南郷先生から貴重なコメントをいただくことができました。南郷先生はじめ指導医の先生方ご多忙の中ありがとうございました。



【今後の予定】

・2019年度第2回 福井県家庭医療ポートフォリオ発表会

日時 2019年12月8日(日)

場所 福井大学医学部附属病院 臨床教育研修センター 白翁会ホール

特別講師 許 智栄(神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 医長)

今回は特別講師に米国家庭医療専門医、米国老年医学専門医である許智栄先生にお越しいただき、米国での家庭医療評価および、最新の老年医学についてご講演いただく予定です。ぜひ皆さんの参加をお待ちしております。

●静岡県

【活動報告】

静岡家庭医養成プログラムより

・静岡家庭医養成プログラム研修医 WS2019

あなたも今日だけドクターコート!? へき地医療や1人当直でサバイブするために!

日時:2019年6月22日 13:00~17:20 場所:しろわクリニック

・研究ワークショップ 2019

プライマリ・ケア研究を始めるために ~6つの実用的な研究法の検討~

日時:2019年7月13日 9:00~12:00 場所:森町家庭医療クリニック

【今後の予定】

『第8回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会』が静岡県支部主幹で行われます。

2019年11月24日(日) 場所:名古屋大学医学部鶴友会館2階大会議室 です。よろしくお願ひします。

●石川県

【報告】

能登地域総合診療強化研究会 クリニカルラウンド

昨年度に引き続き、能登地域総合診療強化研究会主催の『能登北部 4 病院（珠洲市総合病院、市立輪島病院、公立宇出津総合病院、公立穴水総合病院）クリニカルラウンド』を開催します。月 1 回開催予定で、4 病院において 2 回ずつ開催します。

第 1 回クリニカルラウンド

開催日：6 月 18 日（火）19 時から 20 時 会場：公立穴水総合病院

講師：公立穴水総合病院 山崎 愛大先生

テーマ：能登で胃瘻の適応に悩む～認知症患者の意思決定支援～

第 2 回クリニカルラウンド

開催日：6 月 18 日（火）19 時から 20 時 会場：珠洲市総合病院

講師：珠洲市総合病院 内科 出島 彰宏先生

テーマ：血便を主訴に来院した一例



第 3 回クリニカルラウンド

開催日：8 月 20 日（火）19 時から 20 時 会場：市立輪島病院

講師：市立輪島病院 内科 藤永 昌宏先生

テーマ：進行する汎血球減少

【今後の予定】

第 4 回クリニカルラウンド

開催日：9 月 30 日（月）19 時から 20 時 会場：公立宇出津総合病院

講師：公立宇出津総合病院 石田 将路先生 テーマ：未定

第 5 回クリニカルラウンド

開催日：10 月 16 日（水）19 時から 20 時 会場：公立穴水総合病院

講師：未定 テーマ：未定

●富山県

【報告】

1) 2019年度 第1回 とやま総合診療専攻研修プログラム ポートフォリオ発表会

講師:浅井東診療所 所長 松井 善典先生

日時:2019年6月8日(土) 10:00-16:30 会場:富山大学附属病院

BPSをテーマに講演をいただいた。「すべてのポートフォリオはBPSです」システム思考でとらえることの重要性、BPSは家庭医の世界観そのものであり、家庭医・総合診療医として必須のフレームについてご講演いただいた。



2) 亀田ファミリークリニック館山 岩間秀幸先生講演会

日程:2019年6月14日(金) 会場:富山大学附属病院

亀田ファミリークリニック館山 岩間秀幸先生をお招きした。時短勤務・主夫生活をされたことが現在のキャリアに活きていること、「総合診療のキャリアは無敵！」と題して学生に向けて家庭医療の基礎、現在の活動についてお話しいただき、学生・若手医師たちは家庭医療のやりがい、キャリアの具体的なイメージを得ることができた。



3) 令和元年度 第2回 とやまいびー(とやま多職種連携教育プロジェクト)

日程:2019年8月24日(土) 会場:つるぎふれあい館

約70名の多職種学生・実務者の方々にご参加いただき、多職種事例検討では寸劇での紹介により非がん疾患の終末期事例をあげ、「緩和ケア」をテーマに必要な支援についての検討・意見交換を行った。大阪家庭医療・総合診療センターから8名の参加をいただき、地域性で変わること、変わらないことなど議論を深めることができた。



【予定】

1) 令和元年度 第3回 とやまいびー(とやま多職種連携教育プロジェクト)

日程:2019年10月19日(土) 会場:あさひ総合病院

2) 2019年度 第2回 とやま総合診療専攻研修 プログラム ポートフォリオ発表会

日程:2019年12月14日 会場:富山市まちなか総合ケアセンター

●愛知県

【活動報告】

2019年6月22日(土)14:00-17:30 『ACCEL 2019 春』

場所:名古屋大学医学部 会議室1

ACCEL(Attractive Conference on Collaborative and Elaborative Learning for Senior Residents)は、

名古屋大学総合診療科が主催するポートフォリオ(PF)

の作成支援のミーティングです。年4回開催。

今回はで総勢18名の参加者でした。

愛知県内より4名の外部の先生方にもご参加いただきました。

近藤先生によるコアレクチャー「ポートフォリオとは何か？」

ではワークショップ形式で学びを得ました。



【今後の開催予定】

2019年10月27日(日)9:30-12:00 中津川市健康福祉会館

詳細を知りたい方や参加をご希望される方は、名古屋大学総合診療科 HP <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/general/accel/> もご参照ください。コアレクチャーの概要も参照いただけます。

すべての家庭医療・総合診療専門医プログラムの専攻医、指導医、多職種のオープン参加を歓迎します。またPC認定医の受験や更新、専門医更新でPF作成が必要な方も是非ご参加ください。詳細は下記アドレスにお気軽にご連絡ください。

連絡先:名古屋大学医学部附属病院総合診療科(担当:安藤友一)

E-mail:u1ando@med.nagoya-u.ac.jp Tel & Fax:052-744-2951

●岐阜県

【報告】

第1回岐阜 FCGP セミナー&第2回岐阜県総合診療セミナー開催報告

日時:2019(令和元)年6月29日

場所:岐阜県郡上市白鳥町の白鳥ふれあい創造館

内容:県北西部地域医療センター主催、日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック岐阜県支部および公益社団法人地域医療振興協会岐阜県支部共催、岐阜県の後援で第1回岐阜 FCGP セミナー&第2回岐阜県総合診療セミナーを開催しました。

FCGP とは Family medicine, Community medicine, General medicine and Primary care の頭文字を繋げたもので様々な表現がされる総合診療をいろいろな立場であったとしても集まりやすいように命名したものです。第2回岐阜県総合診療セミナーというのは日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック岐阜県支部設立後2回目の開催という意味です。セミナー自体は1.オープニングセッション、2.シンポジウム、3.ワークショップ(並行開催)、4.クロージングセッションからなり、シンポジウムは「総合診療を多面的にとらえてみよう」というテーマで、「いわゆる臓器専門医から見た総合診療医」ということで岐阜ハートセンター院長の松尾仁司先生、「病院をベースにした総合診療医:病院総合診療医」ということで岐阜大学総合内科教授の森田浩之先生(当日急用でご欠席、代理発表後藤)、「地域をベースにした総合診療医:地域医療医」ということで県北西部地域医療センター副センター長の廣瀬英生先生、「家庭をベースにした総合診療医:家庭医」ということで田中医院院長、東海家庭医療ネットワーク代表の田中久也先生にシンポジストをお願いし、全体を通じた特別発言および助言をいただくということで「あらためて総合診療医とは?」として愛知医科大学医学教育センターセンター長、日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部長の伴信太郎先生をお願いしました。改めて総合診療を俯瞰するよい機会になったと思われます。その後、「EBM 事始め まずは一通りやってみる?」「ヘルスプロモーションの第一歩 地域診断してみる?」「介護保険の第一歩 主治医意見書かいてみる?」と3つのワークショップから一つを選択してご参加いただくワークショップセッションを開催しました。

参加者は初期研修医5名、初期研修医以外の医師14名、医学生1名、保健師1名、看護学科教員1名、看護学生2名、事務職1名の25名と、開催側スタッフが医師4名、看護師2名、事務職2名の8名、シンポジスト3名(医師)の総勢36名でした。事後アンケートではシンポジウム、ワークショップともおおむね満足であったとのご評価をいただき、「楽しく参加できました。」「地域医療について話をきけてとても勉強になりました。地域で実際に働いて見える医師の話が聞けて良かったです。」「ワークショップ、シンポジウム大変勉強になりました。」「総合診療の在り方が多様であると感じた。」「“総合診療医”にも様々な専門分野があり、自信をもって自分の専門として総合診療を行っていると言えるように精進しようと思いました。」「岐阜の総合診療を盛り上げるために少しでも力になりたいと思いました。」等の感想がありあました。

日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック岐阜県支部としては今後も岐阜県総合診療セミナーを年2回開催、1回は岐阜市で、1回は地域持ち回りで開催する予定ですし、県北西部地域医療センターとしても今後も年1回FCGPセミナーを開催したいと思っています。こうしたセミナーなどを通じて岐阜県の総合診療が盛り上がればと思っております。

(文責 後藤忠雄:県北西部地域医療センターセンター長/日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック岐阜県支部副支部長)



第1回 FCPG セミナー シンポジウム



2) 総合診療スキルアップセミナー

日時: 2019年4月から月2回の頻度で開催(8回が終了、日程と内容はHPで公開中)

場所: 岐阜大学医学部附属病院

対象: 医学部4~6年生(現在の参加者は2~5名)

講師: 総合診療専門研修指導医・専攻医

内容: 総合診療で役立つ知識や考え方、技能の習得

【予定】

1) 第43回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

日時: 2019年9月6日(金) 19:00~21:20

場所: 長良川国際会議場

2) 第2回プライマリ・ケア連合学会岐阜県地方会・第3回岐阜県総合診療セミナー

日時: 2019年10月26日(土) 16:00~18:00

場所: 総合在宅医療クリニック

●東海家庭医療ネットワーク

『第 33 回 カンファレンス 開催報告』

2019(令和元)年 7 月 13 日、シティータワー診療所(岐阜県)において東海家庭医療ネットワークの第 33 回カンファレンスを以下の日程で開催したので報告します。

WS1『プライマリ・ケア医がみる肛門疾患・便秘症』

消化器外科を長年勤められていた松井先生が肛門疾患についての系統的な講義をしてくださいました。解剖学、生理学から病気の分類、手術の方法までの話を聴く機会というのは非外科医の私には貴重な機会で、とても勉強になりました。

内痔核、外痔核、痔瘻、裂肛、肛門周囲膿瘍、直腸脱、尖圭コンジローム、便秘症について教えていただきました。肛門の解剖は歯状線が重要、便失禁の病態生理、内痔核の Goligher 分類と手術適応、裂肛三徴、下部消化管出血のよくある原因、痔の治療(薬物療法とその使い分け、食生活、日常生活の改善ポイントなど)、排膿時の皮膚切開方法などなど、明日から役立つ素晴らしい内容でした。

WS2『予防医学～患者の 10 年後にコミットする～』

今年医学部卒業、国試合格、初期研修開始とライフイベント激動中の堀先生が、日常診療で疑問に感じた患者さんへの予防的介入について勉強し、寸劇や小グループディスカッションを交えて成果を発表してくれました。

感冒で救急外来を訪れた 20 代前半女性、感冒と診断するための質問、検査、治療的介入はできたが、彼女の健康を害するリスクは他にもあるのではないかと、何を聴いて、どんなことをしたら良いのだろうか。糖尿病教育入院中の 50 代後半男性、この世代の健康上のよくある問題とその予防方法は何か、そのために、どういった介入をしたらよいか。

以上 2 例を通して、予防医療とは何か、どういった予防方法があるのか、具体的にどんなアプローチがあるのか、といったことを学びました。小グループでの議論が白熱して、講師の堀先生が準備した内容を凌駕したという、素晴らしいワークショップでした。

今回は総勢 16 名で盛会でした。参加くださった皆さん、ありがとうございました。この後の懇親会も和気藹々と盛り上がり、とても良い集まりだな～としみじみ感じました。

今後も細々とではありますが、活動を継続してまいります。毎回とても楽しいカンファレンスになりますので、どうぞ皆さんご参加ください！

(文責:田中久也 東海家庭医療ネットワーク代表)



<支部運営についての情報>

●各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；宮崎景、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；伴信太郎、福井県；林寛之、静岡県；北西史直

●プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘（藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム）

●中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村 悦子（中部ブロック支部事務局） e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp